読者のページ
郵便くしまにあ

このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。
いろいろな声をお寄せください。

親孝行したい時分に親はなし

●百野達夫さん

昭和14年の初夏、母は41歳で亡くなった。そのとき、父50歳。小6のわたしを含めて5人の子がいた。突然の母の死は悲しくて涙も枯れた。兄2人は県外に就職していたが、父はかやぶき職人と農業をしながらわたしたちを養育してくれた。

炊事の燃料はすべて薪、洗たくは手洗いの時代。父には大変な苦労であった。

月日は流れ、長男は硫黄島で戦死。父は愛する家族を次々失い「この世のことは当てにならん。仏の道で心の支えを」と猛烈な仏教徒となった。再婚もせずいちずに子育てに打ち込み、いつしか80歳を超えていた。

ある日、家族そろっての朝食に父がいない。呼んでも返事がなく、不吉な予感がした。枕元に近寄っても反応がない。脈を診ようと手をたぐると、長年愛用していた数珠を巻いて合掌していた。

胸が詰まった。だれにもみとられず生涯を閉じた父。苦労した父に孝行したいが、もうこの世にいない。墓に布団も着せられぬ。命日も近づいた。そして父の日も。

追悼と感謝の気持ちで孝行したい（6月6日記）。

百野さん、今月もお便りありがとうございました。

ご苦労されたお父さまへ対する労りのお気持ち、痛いほど伝わってきました。父の日を迎えるたび、お父さまへの想いを強くされているのでしょうね。祈りのお気持ちはきっと、届いていることと思います。

自身を振り返り、存命か否かにかかわらず百野さんのように、親へ対する敬愛の気持ちを持ち続けたいと思いました。

昔のようにきれいな海に

●三股町　外山登志也さん

昭和30年から47年まで、志布志町（現・志布志市）に住んでいた。

当時の唯一の楽しみは、高松の海で遊ぶことだった。

ビナ採りでは、黒ビナ、長者ビナ、ナガラメ。釣っては、わたしの専門だったガンガラ。刺身によし、みそだきによし、実に楽しい海だった。鹿児島でもあちこちに行ったが、食べ物にならなかった。海の水が問題なのだと思った。

いつまでも昔のままのきれいな、そして人びとを喜ばせてくれる海であってほしいと願っている。

外山さん、お便りありがとうございました。

当時、志布志町にお住まいでありながらも、高松に足を運んでくださっていたとのこと。本当にありがとうございます。

ひとたび自然を壊してしまうと、それにかかった時間よりもはるかに多くの時間を費やさなければ、もとの自然に戻すことはできません。

あるいは、元にもどすことが不可能な場合もあることでしょう。

わたしたちに、豊かな生活を与えてくれる自然。その大いなる恩恵を受け、そして守られてきました。

自然がとりわけ豊かな串間。この自然に感謝し、守っていきたいものですね。

間違い電話にビックリ

●タンポポさん

雨ばかりの梅雨も昨年より22日も早く明け、上天気の暑い日となり忙しい1日だった。

やっと夕食にありつけたと思ったとたん、電話のベルが鳴り「タンポポさんのお宅ですか」とのこと。「ハイ」と答えると「大束の公民館で子宮がんと乳がんの検診があるから行ってください」とのことでビックリする。「なんで、わたしは8月9日検診で、10時と11時の予約ですよ。大束までは行かない」と言うと「（大束で）予約されてますよね」との答え。「わたしは○町○丁目です」と言うと「すみません」とのこと。だれでも間違いはあるけど、ホントにビックリしましたね。でも「ご苦労さん。お疲れさんでした」と受話器を置く。

もれなく検診を受けていただけるよう、福祉保健課では検診前日に該当者に電話連絡をしています。

この連絡の際、電話番号を誤ってダイアルしたようです。タンポポさん、驚かせてしまい大変申し訳ありませんでした。

ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、労いの言葉をかけてくださり、その懐の深さに感謝するばかりです。

わたしたち広報業務でも、掲載記事の中に誤りがあり、関係者の皆さんや市民の皆さんにご迷惑をおかけすることがあります。

先日もご指摘のお電話をいただきましたが、最後に「あなたたちも大変ですね。頑張って」と温かいお言葉をいただきました。

わたしたち職員は、市民の皆さんに支えられているのだとつくづく感じました。身の引き締まる思いです。今一度、気を引き締め業務に取り組んでいきたいと思います。

わたしも出てみたい

●三百由莉さん（7歳）

おいしゃさんがでているなるほどのところがおもしろかったです。いっぱいじがかいていました。それにはともだちのしゃしんがのってて、うれしかったです。

わたしもこれにでてみたいです。のせてもらえますか。さんびゃくゆりより。

本城地区・崎田にお住まいの三百由莉さん。本城小学校の1年生とのこと。「広報に出てみたい」とのうれしい言葉をいただいたので、早速取材に行きました。

取材のこの日は夏休み初日。海岸清掃のボランティア活動を終えたばかりの由莉さんの笑顔をパチリ。コメントをいただきました。

「掃除は楽しかったです。きれいになって、すっきりしました」とのこと。

広報紙にはカラー写真を掲載する旨を伝えると「カラーだ。やった～」と飛び跳ねてくれました。満開の笑顔をありがとう。

小さなお友だちの皆さん、このようなお便り大歓迎です。ぜひ、お便りください。

リニューアルします

読者のページ「郵便くしまにあ」のコーナーをリニューアルいたします。

これまでどおり、皆さんからの自由投稿も掲載するほか、伝言メッセージや写真投稿も受け付けます。

ご家族や友人へのメッセージ（誕生祝いなど）をお寄せ下さい。お祝いの言葉や日ごろ口に出して言えない思いを伝えてみませんか。

ぜひ、このコーナーをご活用ください。

携帯からも投稿可能に

あなたが撮影した写真を投稿してみませんか。

お子さんのお誕生記念やちょっとした話題などの写真をぜひ、お送りください。携帯電話からも投稿できます。左のQRコードをご利用ください（紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができないことがあります。あらかじめ、ご了承ください）。

投稿には、①名前（ペンネーム可）②連絡先③コメントを必ず添えてください。

◎Eメールアドレス
info@city.kushima.lg.jp

◎伝言メッセージ例

じぃじ・ばぁばへ

じぃじ、ばぁば、いつもありがとう。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。

串間市・アビより

おたより待ってます

◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、医療講座に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

⬇点線に沿って切り取ってください。（官製はがきでも可）

市民憲章

わたくしたちは、

1. 豊かな自然を大切にし、これをいかしましょう。
1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
1. 健康で働くことに誇りをもち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
1. だれにも親切にし老人をいたわり、こどもに夢と、しあわせをあたえましょう。
1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木／そてつ ◎市の花／かんな
◎市の鳥／めじろ ◎市の花木／山桜
◎人口 20,092人（前月比 ＋13）
男 9,235人 女 10,857人
世帯数 8,769世帯

（平成23年7月1日現在）